

ビルダグリプチン錠50mg「ニプロ」をお飲みになる患者さんへ

[監修] 医薬情報研究所／株式会社エス・アイ・シー
公園前薬局(東京都)薬剤師 堀 美智子 先生

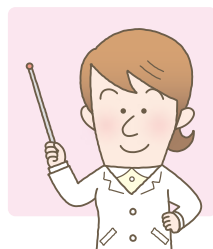
〈注意〉

- 併用薬(インスリンやSU薬等の糖尿病治療薬だけでなく、SU薬に類似した作用を持つ薬:ニューキノロン系抗菌薬、抗不整脈薬等も含む)や特定保健用食品、機能性表示食品により、低血糖が起こる可能性があります。
- 低血糖の症状は、患者さんにより個人差があります。



ビルダグリプチン錠50mg「ニプロ」を お飲みになる患者さんへ

〔監修〕 医薬情報研究所／株式会社エス・アイ・シー
公園前薬局(東京都)薬剤師 堀 美智子 先生



ビルダグリプチン錠50mg「ニプロ」は、
血糖値を調節するインクレチンという
ホルモンの分解を防ぎ、血糖値に応
じてインスリンの分泌を促進するな
ど、**血糖値を下げる作用のあるお薬**
です。



〔お薬の用法・用量〕

通常、1日2回朝・夕もしくは1日1回朝、1回につき1錠(50mg)



〔お薬を飲むときの注意〕

- 飲み忘れた場合は、気がついた時に1回分を飲んでください。ただし、次に飲む時間が近い場合は1回とばして、次の時間に1回分飲んでください。絶対に2回分を一度に飲んではいけません。
- 誤って多く飲んだ場合は、医師または薬剤師に相談してください。
- お薬を飲んだ後、体に異変を感じたら、自分で判断せずに、医師または薬剤師に相談しましょう。

副作用について

- 「空腹感」「便秘」「脱力感」などの症状があらわれることがあります。
- 以下の症状があらわれた場合は、**急性膵炎**の可能性があります。
「持続的な激しい腹痛」「嘔吐」「背部痛(まっすぐ立ってられないような背中から腰にかけての痛み)」
このような症状があらわれた場合には服用をやめて、すぐに医師の診察を受けてください。

少しでも気になる症状がある場合は、すぐに医師または薬剤師に相談してください。

裏面もお読みください

低血糖に注意しましょう



低血糖とは、お薬の量の間違いやほかのお薬との併用、長時間の運動、食事の遅れ、過度な飲酒などが原因となって血糖値が下がりすぎてしまう状態です。**症状のあらわれ方には個人差があり、早めに対処することが大切です。**

低血糖の主な症状

異常な空腹感

強い脱力感

動悸

冷や汗をかく

手指のふるえ

生あくび

集中力の低下

けいれん

眼のかすみ

思考困難

低血糖症状が起こったときには

- 十分な量の糖分をとりましょう。

ブドウ糖の場合10g、砂糖の場合20g、ブドウ糖を含んだ清涼飲料水の場合150~200mL など

- α -グルコシダーゼ阻害剤(糖分の吸収を遅らせるお薬)を同時に服用中の方は、低血糖症状が起こった時には必ず**ブドウ糖**をとるようにしてください。
- 高所での作業や自動車を運転する人は、必ずブドウ糖を常備しておきましょう。

※運転中に低血糖の気配を感じたら、ハザードランプを点滅させ、直ちに車を路肩に寄せて停止し、携帯しているブドウ糖を含む食品を速やかに摂取しましょう。



ご家族や周りの方へ

低血糖の対処を行ってから15分たっても、患者さんの低血糖症状が治らない場合

- 再度同じ量の糖分をとってもらいましょう。
- 口から摂取できない状態のときは、ブドウ糖・砂糖を唇と歯茎の間に塗りつけ、あるいは、グルカゴンがある場合は注射や点鼻を行い、直ちに医療機関と連絡をとりましょう。

医療機関・薬局名



製品に関するお問い合わせ先

ニプロ株式会社 医薬品情報室

 **0120-226-898** 受付時間 9:00~17:15
(土・日・祝日・その他弊社休業日を除く)

患者さん向け資材等の

取り寄せサイト(医療関係者向け)はこちら▶▶

<https://order.nipro.co.jp/items>

